

◇ 行事報告 ◇

12月18日（日）摩利支天月例祭
コロナで一年が過ぎてしまいました。世間も徐々に通常にもどろうとしています。当山も通常通りに午前10時より読誦会、引き続き摩利支天堂にて摩利支天月例祭を執行しました。令和4年最後の式典も無事に納めることが出来ました。

令和5年の四緑木星・癸卯（みずのと・う）の年は、字の意味として、広める、伝達、調う、繁茂、信用などがあり、植物の葉が繁り、大きく広がるイメージです。このことから、今まで温めていたことにチャレンジすると吉となります。

また、癸は「オ」を付けて揆（はかる）、計る、筋道を立てる、均等にならず、という意味を持ち、この年に広がった事象は長く続くと言われます。

例えば、ちいさな親切運動が始まったのも60年前の癸卯の年でした。企業では、サントリーさんが寿屋から社名を改名されました。会社の創立や新商品の発売などが長く愛される事象となることも多いようです。是非新しい事にチャレンジしてみてください。気を付けることは中途半端にしないことです。けじめを付けることに気を付けて過ごして下さい。



さらに、癸卯は「き・ぼう」とも読みます。令和5年は、希望のある年となりますよう、笑顔でお過ごし下さい。

コロナが終息するよりも早く、人の往来が自由になってきました。檀信徒の皆様もより一層の手洗いうがいを心がけて頂きますよう、お願いするとともに、皆様の健康を祈念させて頂きます。



1月1日（日）除夜の鐘

午前零時より約15名の方が参加され、お題目を唱えながら除夜の鐘を撞き、罪障消滅を願い、新たな気持ちで新年を迎えました。

富山総代より、新年のご挨拶がありました。

毎年、住職不在の中、皆様のおかげで、今年も気持ちの良い新年が迎えられました。有り難うございました。

◇ 令和5年元旦へ ◇

仏像のほこりを落として、御宝前のお掃除をし、幣束、注連縄を取り替え、正月飾りができ、妙法華寺も新年をお迎えする準備が整いました。

令和5年が皆様にとって良き年となりますよう、祈念いたします。



◇ 行事案内 ◇

開運星祭（厄除け祈願）

2月4日（土）午前10時より本堂にて、「年中安全、厄除け諸難除け」の特別祈禱を行います。

当日は、申込された御札一体一体にお香を通し、木剣修法を行い、御札に魂を入れます。お申し込みがまだの方は、至急お申し込み下さい。

なお、お申し込みをされて、当日ご参加出来ない方には、後日お送りいたします。

摩利支天月例祭

2月18日（土）、※3月20日（月） 午前10時より執行いたします。

本年の3月は日にちが変更になりますので、宜しくお願いします。

多くの摩利支天様がお座り頂いた御宝前にて各家の家内安全、身体健全を祈願し、お加持を受けます。コロナ対策を取りながら執行していますので、皆様のご参加をお待ちしております。

なお、お供えは、摩利支天様一体千円以上、お賽銭百円以上を申し受けます。

合 掌